

財政通信 No.27

みなさん、こんにちは。

前回の財政通信(No. 26)で担当者のK主幹からバトンを託された財政課 5 年目Kです。

だいぶバトンを温めてしまい、昨年 9 月から半年のご無沙汰でした。

その間、私を含め財政課員は何をしていたのか・・・。

それは、財政課の一大イベント、平成 28 年度当初予算編成です。みなさんにご協力いただき、無事 3 月議会に平成 28 年度予算(案)を提出することができました。

やっと一息ついて、財政通信の発行となりました。

思い起こせば、この予算(案)、予算要求時の財源不足額が 22 億 8,400 万円。昨年度の 29 億 1,800 万円には及ばないものの、係長からその額を知らされたときは、私、ちょっと悲鳴をあげました。そこから数字と資料と眼精疲労との格闘の日々が始まりました。

早いもので、私が予算編成に携わるのも 5 回目。「5 回目となれば、慣れたものです。」と自信をもって言いたいところですが、そう甘くない。毎年、担当する費目(議会費、総務費、民生費など)や特別会計は変わりますし、再び担当になったとしても、新規の事業や毎年変わる制度により、全く同じということはありません。そういう訳で、お勉強が必要になります。何度も何度もみなさんのところにお話を伺いに行ったり、資料を集めたり。各課の方々にはお世話になりました。

歳出の精査と歳入の確保に努め、その後いろいろ紆余曲折はありましたが、なんとか 1 冊の予算書(案)を作り上げることができました。

※なお、予算編成時の財政課の雰囲気を知りたい方は昨年度 3 月発行の財政通信No.24 をご覧ください。多少、フィクションがありますが・・・。

それでは、これからが本題。できたてホヤホヤの平成 28 年度予算(案)が、一体どんなものなのか。予算に興味津々の方だけでなく、「自分の課の予算さえ分かればいいさ。」、「毎年度それほど大差は無いでしょ。」とお考えの方も、しばしお付き合いください。

平成 28 年度、龍ヶ崎市は新しいことも始めますよ！

☆ポイント1 予算規模～予算総額は昨年度に引き続き 400 億円台！～

龍ヶ崎市の予算が全体でどのくらいなのか。ピンとこない方もいらっしゃると思います。平成 28 年度予算(案)は、417 億 400 万円。前年度より 7 億 8,200 万円増加しています。一般会計も 243 億 5,600 万円で前年度より 6 億 4,000 万円増加しています。

定住促進・地域活性化のための事業費、インフラや公共施設の老朽化対策の長寿命化にかかる事業費や医療介護の経費の増加が主な要因です。

☆ポイント2 歳入 ～各種事業の財源として、特定目的基金の繰入(取崩し)の大幅増～

まず歳入の基幹である市税の状況です。工場の新增築により固定資産税の家屋分が増収の見込みですが、一方で税制改正の影響により法人市民税、土地評価額の下落により固定資産税の土地分、それぞれ減収を見込んでおり、市税全体では微増にとどまっています。市税を含む一般財源(あらかじめ使いみちが決まっていない財源)は、地方消費税交付金の増収見込みもあり、微増としましたが、これだけでは拡大している歳出の増分には追いつきません。

そこで、平成28年度は複数の事業で特定目的基金の繰入(取崩し)で対応しています。特定目的基金とは、公共施設の整備など、特定の目的の事業を計画的に実施できるよう資金を積み立てる基金です。家計に例えれば、家族旅行に向け、大事に貯める旅行資金のようなものでしょうか。庁舎新附属棟の整備、たつのこフィールドの照明塔建設に公共施設維持整備基金、龍ヶ崎地方塵芥処理組合の改良工事に係る負担金に地域振興基金を繰入れるなど、財源不足を調整する財政調整基金の繰入も含めると、基金繰入総額が9億3,600万円となり、前年度より3億6,800万円の大幅増です。

☆ポイント3 歳出 ～住み続けたい、住んでみたいまちづくりのために～

ここからは、これは知っておいて損はない平成28年度の主な事業(目玉)について、お知らせします。市民の方々からお問合せを受けそうなものを選びました。

① 2つの「駅」

まず平成28年度は2つの駅に注目です。

市の玄関口である佐貫駅周辺地域整備基本構想の策定(1,400万円)に平成27年度に引き続き取り組みます。また「龍ヶ崎市駅」への改称関連事業(1,800万円)、牛久沼の景観を生かした道の駅整備事業(1,700万円)に取り組み、シティプロモーション活動(2,000万円)を交えて、市のイメージアップ、にぎわいづくりを目指します。

② 2つの「ステーション」

2つの駅に続き2つのステーションにも注目です。

佐貫駅東口に「駅前子どもステーション」を開設(2,700万円)し、仕事と子育ての両立ができる環境の充実を図ります。また、休日や夜間に市役所機能を補完する機関としてショッピングセンターサプラ内に「市民窓口ステーション」を開設(1,500万円)し、利便性の向上を図ります。

③ たつのこフィールドに照明塔！明るくなります。

市民のみなさんがナイターでスポーツを楽しんだり、トップレベルのスポーツ大会の誘致やイベントの開催をするため、たつのこフィールドに照明塔を建設(3億3,600万円)します。また陸上競技場の公認継続改修工事(4,900万円)を実施します。スポーツを「する」「みる」機会の充実につなげます。

④ 市民の安心・安全な生活を守ります。

主要交差点などへの防犯カメラの設置箇所を増やし(1,300万円)、被害の未然防止や犯罪の速やかな認知など防犯体制の強化を図ります。また、増加する局地的な集中豪雨などによる浸水被害を軽減するため、佐貫地区に雨水貯留施設を整備(2億2,400万円)します。

以上、平成 28 年度予算(案)のポイントを大まかにご紹介しました。より深く知りたい方は是非「平成 28 年度 龍ヶ崎市予算の概要」をご覧ください。一般会計予算を家計に例えてみたり、主要事業の実施箇所のマップを載せたりなど、より分かりやすく、より身近に感じてもらえるよう、課員一同、試行錯誤し作成しました。

さて、ここまでお付き合いいただきましてありがとうございます。最後に財政通信のお約束、ドラマネタを1つ。前回の財政通信では、当時 K 主幹が熱戦続く高校野球について語っていました。私が、予算編成の時期に胸を熱くしていたのは、佃製作所のひたむきな姿です。お分かりの方も多いことと思いますが、昨年 10 月から 3 ヶ月間 TBS で放送されたドラマ【下町ロケット】です。中小企業が幾多の逆境を乗り越え、純国産ロケット用エンジンバルブの部品供給や、子どもの心臓に埋め込む人工弁の開発に成功する、涙腺崩壊もののストーリー。ひたむきに突き進む佃製作所の姿に感じるものがありました。放送日翌日は、「検証一(けんしよー)！」などの名言の真似をしてました。そんな名言の中でも、一番印象深いのが「佃品質 佃プライド」ではないでしょうか。困難の中でも、自分たちのつくり出すものへのプライド、更に社員一人ひとりのプライドが佃製作所を一丸とし、佃製作所は強くなりました。

龍ヶ崎市にも参考になる部分が多々あると思います。急激な少子高齢化に伴う人口減少や公共施設の老朽化など、地方や自治体を取り巻く環境は厳しいものがあります。と言って、ここで腐ってはいない未来はありません。龍ヶ崎市にはさまざまな資源(職員も資源の一つかも知れませんね。)があります。その良さを見い出して、さらに魅力を引き伸ばす。そしてそれにプライドを持つ。

「龍ヶ崎品質 龍ヶ崎プライド」

平成 28 年度予算が「龍ヶ崎品質 龍ヶ崎プライド」を実現するものであればいいなと思いながら、数字と資料と眼精疲労と闘っていたというお話でした。

それでは、そろそろ M 主幹にバトンタッチいたします。次回よろしくお願ひします。
ありがとうございました。